

令和元年度 名東区ACP研修会（概論編） アンケート結果

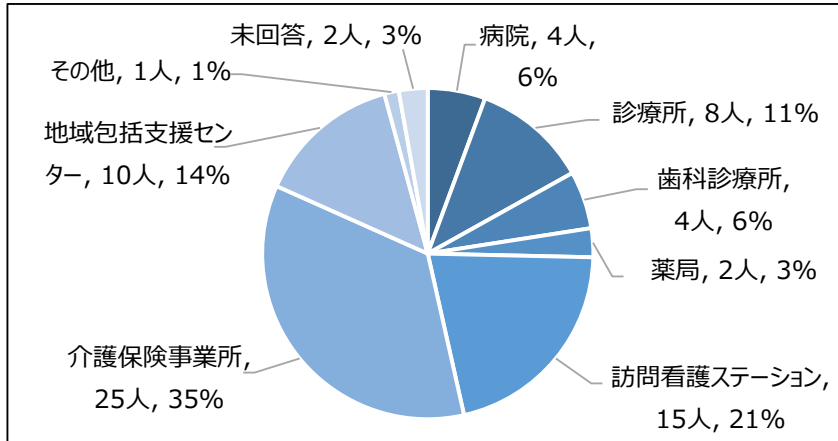
日時： 令和元年 6月8日（土） 14:30～16:30

場所： 名東区役所 講堂

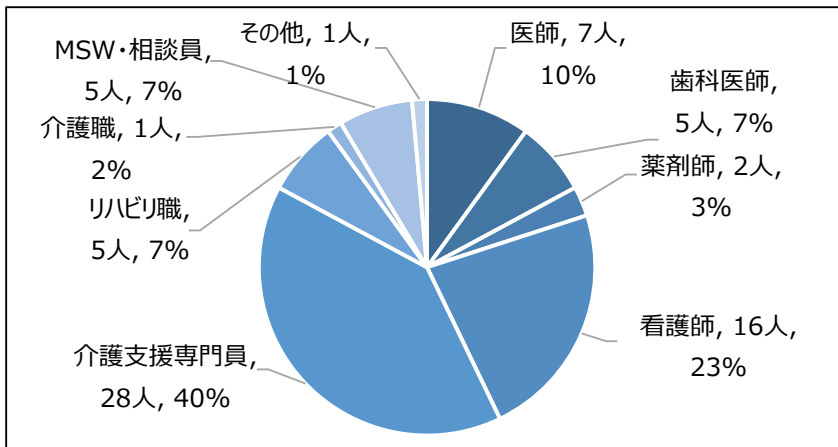
アンケート回収率： 86.4%（アンケート記入者70名／参加者81名）

1. 参加者ご自身について

①所属を教えてください

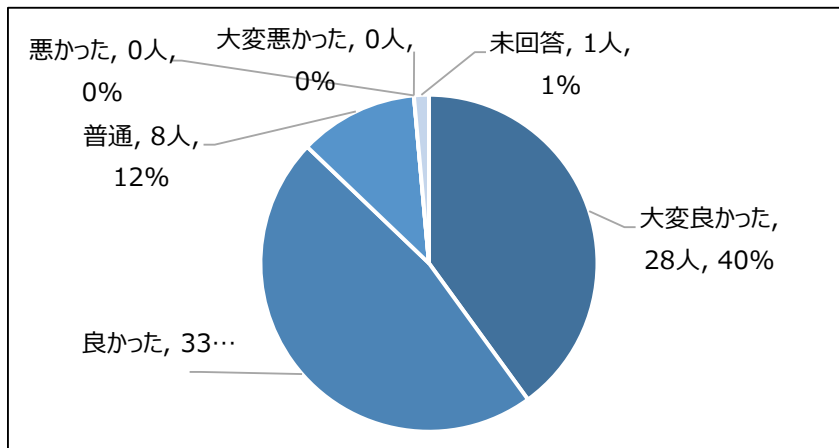


②職種を教えてください

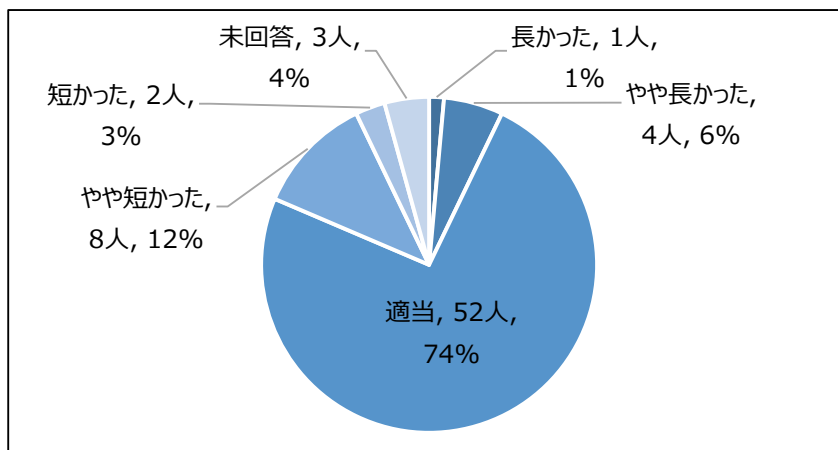


2. 講義（ACP概論）について

①内容はいかがでしたか？

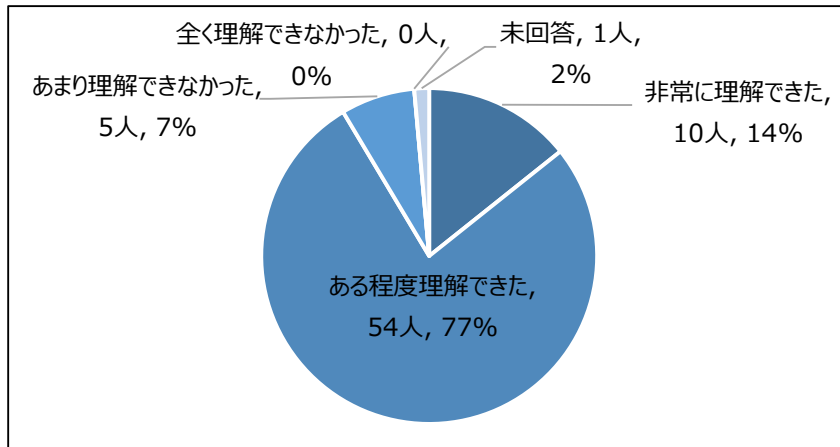


②時間はいかがでしたか？

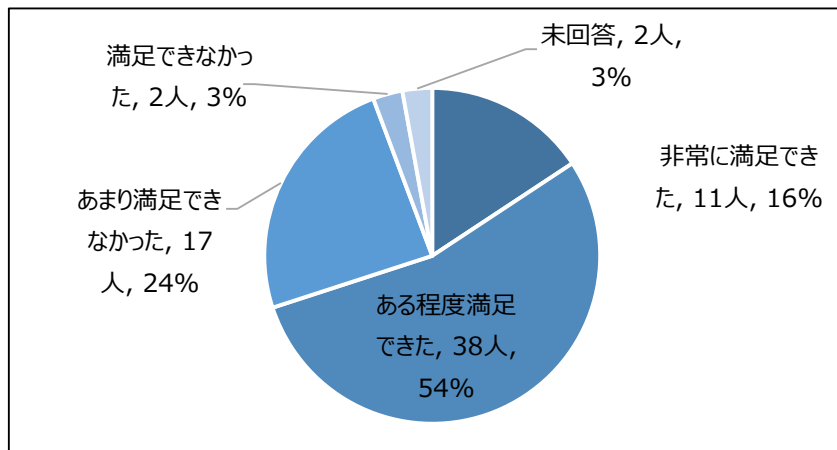


3. グループワークについて

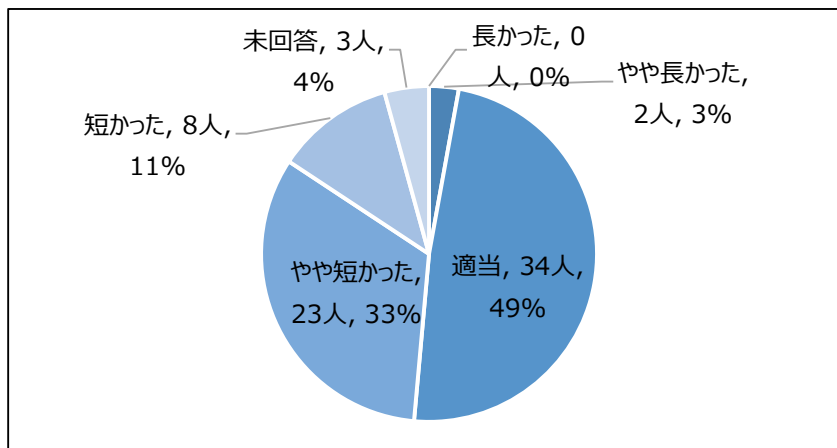
① ねらい（どの段階でA C Pを始めるのが有効か？）は理解できましたか



② ディスカッションは満足できましたか

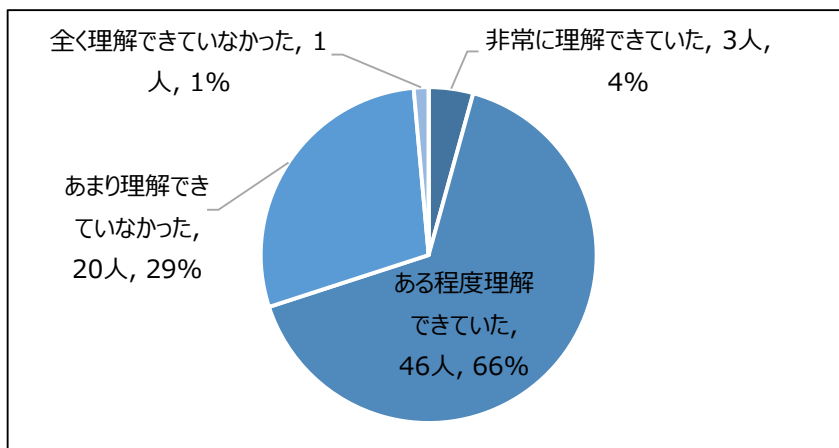


③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

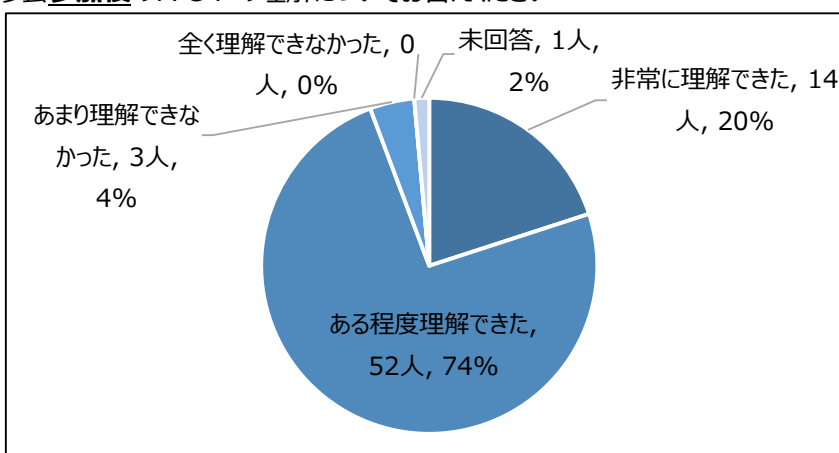


4. 本ACP研修会について

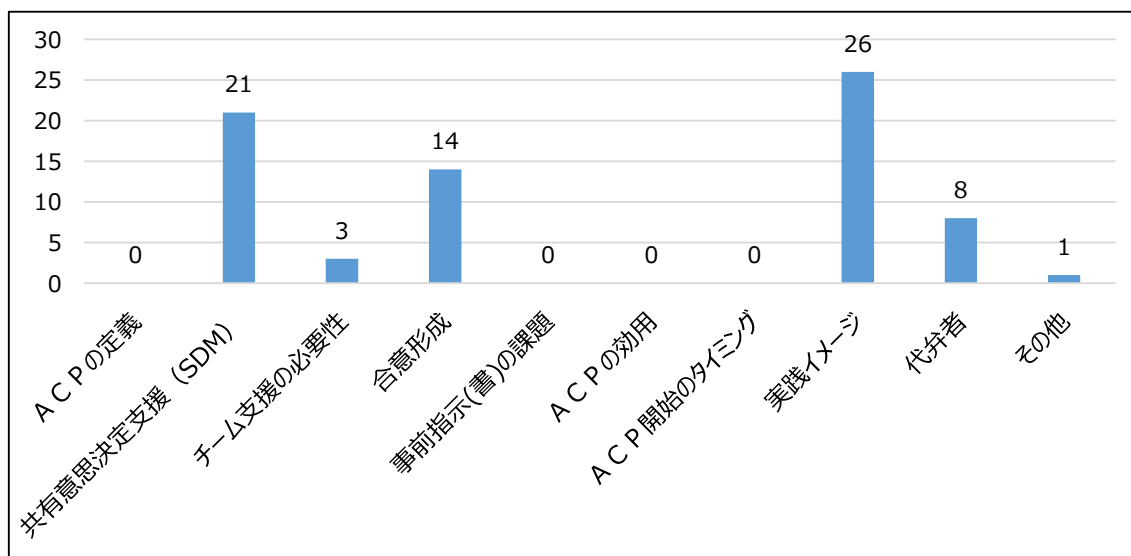
① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください



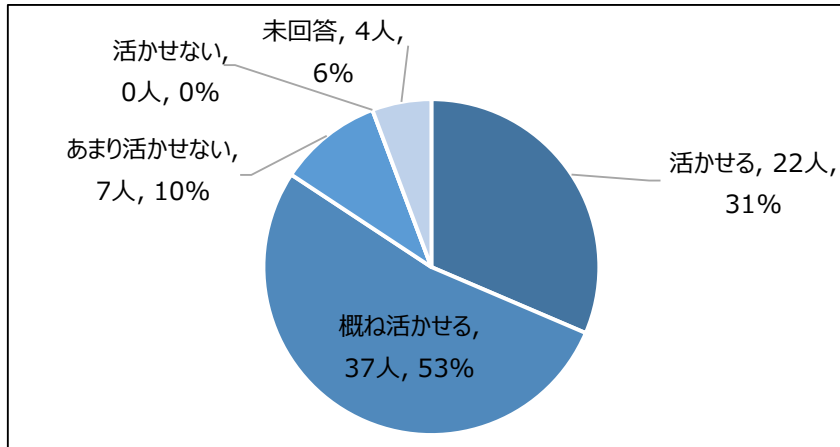
② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください



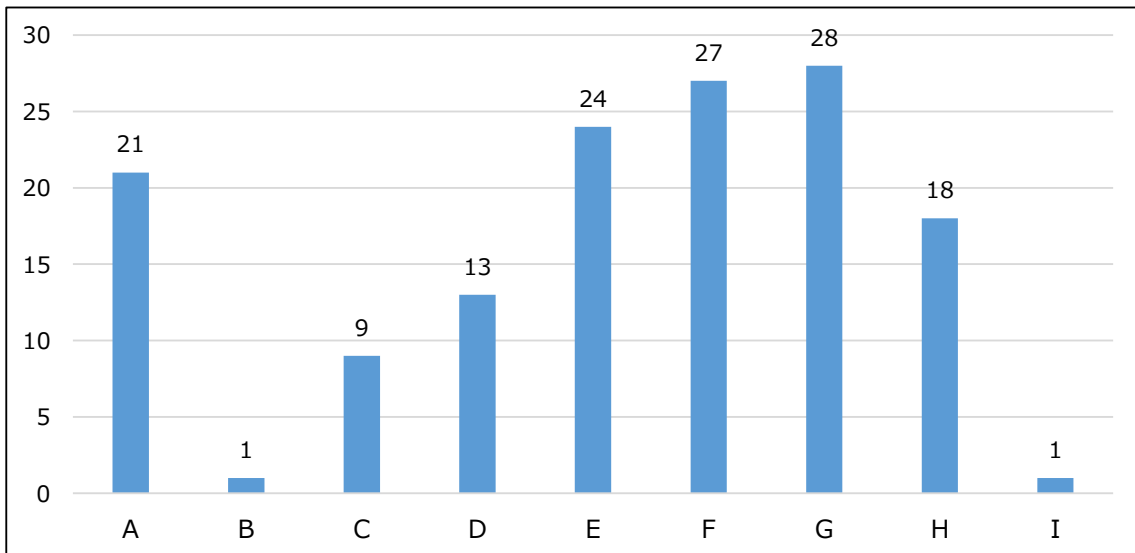
③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください

- ・ グループワークをすることで、今一つ A C P とは何かを理解していませんでしたが、少しですが分かってきたような気がします。患者さんへの質問時間がもう少し欲しかった（5分では短い気がした）。
- ・ A C P（人生会議）とは、本人に対する問いかけ、本人の状況自覚の促しなのかと考えさせられました。本人のつける日記は、つけるべきなんだろうと。共有意思決定については難しいものの、確かに書面になればわかりやすいことと感じました。
- ・ グループワークで、面接をさせていただき立場をいただき、質問の難しさを感じ、今日の資料を念頭に、その場面に立った時、A C P が行えたと感じました。
- ・ 日常の業務の中で、悩むことの多い内容だったので、他の方の意見を聞くこと、ロールプレイは勉強になったと思います。
- ・ ロールプレイの時間はもう少し長く。A C P の話が出始めた時にタイムアウトになってしまいました。
- ・ 最後にフリーディスカッション（反省等）の時間がほしい。
- ・ 安楽死について、A C P は患者本人の意思決定が必要だが、患者（自分）が生き方を選択することが必要。
- ・ A C P は実際行うのは、患者・家族の意見（本心）のくみ取り、意見が変わる等、難しい面が多々あると思いました。しかし、終わりをどうするかは大切なことであり、何度も話し合い、考えるということが重要だと思いました。
- ・ ディスカッションの時間が短く、発表の時間が長かった。もう少しディスカッションを行って、話を深めたかった。
- ・ 自分の事前の理解が浅く、実践イメージがつかめるまでには至りませんでした。
- ・ ロールプレイで、普段は信頼関係ができたから、また、その相手の性格等を把握してから、どんな聞き方をしたら良いか考えて話すので、わからない状況で聞き出すのは少し難しく、簡単なことではないことに気づきました。
- ・ 今後の在宅支援に活かしていきたいです。
- ・ 本心を引き出すには、繰り返しが重要であると認識できた。
- ・ 本日はありがとうございました。グループワークに参加できずすみませんでした。又の機会にも参加させていただきたいと思います。
- ・ 医師も参加の研修は、有意義だと思います。いつもグループワークのテーマは、漠然としていると思う。

- ・患者イメージが広く、なかなか話ができない。伝わらない。事前に患者イメージがわかると、もっと研修が良いものになると思います。
- ・次回のフォローアップ編に期待しています。ACPの理解が深まりました。実践例の提示があると助かります。
- ・短い時間のロールプレイだったが、色々考える視点がありました。考えるきっかけとしては、とても良かった。
- ・ACPについて学ぶ機会が最近増えてきていますが、更に学びを深める事、自分とは異なる職種の方の意見が聞けたこと良かったと思います。グループワーク（ロールプレイ）の勧め方が良くわからず、上手く時間を使うことができませんでした。ファシリの方にもう少し明確にしていれば、更に良い時間になったのでは…と思いました。
- ・入院中の患者様との関わりでは、なかなか難しい。短い関わりなので、ACPに関わることは難しいが、部分として関わるのが、全体の中の一つの点となれるとも感じた。
- ・ディスカッションの時間がもう少し欲しかった。専門職で一度もしバナゲームをしましょう。
- ・グループワークを通して、（患者役）普段からの信頼関係も、本人の意見を聞きだすには大切だということ。それぞれの職種が、それぞれの立場で聞き取ったことを、共有して統合して、その人の望む生き方、死に方をチームで支えることが必要と思いました。患者役をしてみて、質問されたことに答えたら、「こう思っているんですね」と返してくれると、患者は「そうそう」又は「いや違う」と、自分自身の考えを整理して伝えやすくなると感じられた。医療職は時にどうしても自分自身の価値観で判断したり、誘導するような言い方になりがち。まず、相手の思いを聞く、聞き出すこと、そのための時間を作ることの重要性を再確認できました。
- ・ケアマネジメントの過程で、人生の最終段階では、本人の意思を確認しづらいことが多く、無意識に家族の意向に注目してしまいがちでしたが、ACPとはもっと前の段階から本人の希望・意向を確認したり話合っ、本当に納得のいく終末の迎え方をできることが重要だと改めて感じました。今後の利用者よのコミュニケーションに生かしたいと思います。。
- ・立場が違ふと感じかたが違ふということを知づく。本人が語れるメンバーの選択。どこで死ぬかが2択しかないことが、シビアを感じる。
- ・今後の支援、関わり方へつなげて、活かしていくことができればと思いました。ありがとうございました。
- ・4④⑤は、職種的にないと思われる。
- ・北川先生のコメントが、大変勉強になりました。医師やケアマネと顔合わせをさせて頂き、ありがたいです。
- ・グループでのディスカッション時間があまりに短く、十分な討議が出来なかったのが、大変残念でした。フォローアップでは、多くの討議ができるよう、時間配分をしてほしい。
- ・個別に聞くことも必要ですが、それをチーム（関わっている多職種）に伝わっていないことも多い。色々な立場の人が本人・家族と関わり、情報を共有し、統一した見解をもっておくことが必要だと思いました。